

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 陽		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日		令和8年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者自身が取り組みたい内容を選択できるような療育内容となっており、自己決定する力を育てることで、自己肯定感が高まる支援を目指している。	小学生高学年から中高生の利用が多く、こども同士が互いに良い影響を受けられるような取り組みになるよう工夫している。	ご利用者様のニーズや課題をより客観的に把握していくことで、個別療育の内容がより興味関心を引き出し、自己肯定感を高める支援を目指したい。
2	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証を長期的視点にたっておこなうよう支援を目指している。ご本人の進路目標に向けての支援内容を充実させる。	療育記録は個別療育記録として、保存することで担当者会議等においても保護者様にお示しすることで、療育に対する意見を聞く機会に利用させてもらっている。	ご利用者様の進路目標に向け、通信制高校との情報交換を深めることで、より適切な進路アドバイスができるように情報の蓄積を図っていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で、家族に対する支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族が参加できる研修会等が実施できていない。	ペアレントトレーニング等、ご家族等が参加できる研修会や情報提供の場を拡大できるような取り組みを行う必要がある。	ペアレントトレーニングの具体例を学ぶことで、職員の専門性を高めた行きたい。
2	父母の会の活動支援や、保護者会の開催するなど実施できておらず、保護者同士で交流する機会を設けられていない。	営業日が平日に限られており、保護者の方との交流時間がなかなか取れずにいる。	父母会に代わる保護者同士の交流が図られる取り組みを検討していきたい。
3	高校を卒業して、その後利用となる障害福祉サービス事業所や進学先となる専門学校・大学の情報提供を充実させること。	中高生の利用が多い事業所として、高校進学や大学・専門学校及び就労支援事業所に対する情報提供の充実を図る必要がある。	進学先や就労支援事業所などの情報収集を積極的におこないデータベース化することで、保護者や利用者に対し適切なアドバイスをおこなえるようになる。